



お疲れさまでした 親子環境整備作業

19日の親子環境整備作業には、多くの保護者の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。お陰さまで、学校もきれいな環境の中で、年末年始を迎えることができます。

次の日の清掃時、子どもたちの働きぶりがいつもと違っていることに気付きました。動きがてきぱきとして、雑巾がけも隅から隅まで、力を入れて拭いていました。



落ちにくい廊下の汚れも

お父さん、お母さんの働く姿から、きれいにする掃除の仕方を学んだようです。親子一緒での作業の意義は大きいと、改めて感じました。

ぜひ、ご自宅の大掃除もお子さんと一緒になさってみてはいかがでしょうか。

声を合わせることの大切さ

今年もオープンスクールに体育館で音読集会を行いました。嬉しいことに、「とても感動しました！」という感想をたくさんの方からいただきました。

担任の感想にも次のようなものがありました。

教科書に載っている詩を少しアレンジしたので修正するのに時間がかかったが、声がそろってくるにつれて、体育館に響き渡って一体感が出てきた。

いつも教室で音読をしていたが、広いところで思い切り声を出すことの心地よさを感じることができたと思う。他の学年の発表を聞いたのもよかった。

声を合わせるということは、「息を合わせる」ことにつながります。「あの人とは息が合う」「息の合ったカップル」などという言い方があります。最高に息が合うと「阿吽あうんの呼吸」となり、言葉（声）も必要なくなるようです。

声を合わせるには、多少なりとも他の人に気を遣い、ペースを合わせねばなりません。これは、普段の会話・コミュニケーションを円滑することにつながります。

合唱する、教科書を一緒に読む、かけ算九九を唱えるなど、子どもたちが学校生活の中で声を合わせる場面はたくさんあります。



体育館に響く大きな声

普段の生活の中で、上手に声を、そして息を合わせることができれば、けんかやいじめは少なくなるはずです。

元気いっぱい！ いずみの子

いずみ町の児童は、県道の南側歩道を通って登下校しています。2つの登校班だけです。県道北側の歩道を歩く児童の多さに比べると、見ていてちょっと寂しい感じがします。それでも、北側の交差点に立ってくださっている交通指導員さんや保護者の方に向かって、しっかり挨拶をします。距離があり、しかも車の通る音も騒がしいのですが、それでも十分届く大きな声です。



道路の反対側にも聞こえる声で

「いずみの子の元気な挨拶は気持ちがいいですね」と、交通指導員さんがいつも褒めてくださいます。

他の町内の子も、いずみ町に負けないよう元気な挨拶をお願いします。

お願い

登下校時、正門からの車の乗り入れはご遠慮いただいておりますが、それ以外の時間（保健室にお子さんを迎えに来る時など）に来校される場合は、校門を開けてお入りください。

また、正門前の道路のプール沿いに車を止めると、マンションに出入りする方のご迷惑になりますので、くれぐれもご注意ください。

冬休みも、挨拶・靴揃えで「事故0(ゼロ)」に

18日、低中高の学年ブロック毎に交通安全教室を実施しました。今回は、県くらし安全安心課の担当者をお迎えして、自転車シミュレーターを使っての学習でした。主に、自転車で走行する時の注意点やヘルメットの重要性について学びました。

1学期には、校庭に交差点や踏切などを設定し、実際に自転車を使っただけの教室を実施しています。当然ですが、安全教育では、繰り返しの指導や日々の継続的な指導が大切なものになります。

~~~~~

「廊下や階段の右側を静かに歩きましょう」、これは、『今月の目標』として、年間に何度か出てきます。

昔からどの学校でも、廊下にセンターラインを引いたり、中央に花を置いたりといった工夫をしていますが、元気な子どもたちに守らせるのは難しい目標です。こちらも、やはり繰り返しの指導が必要となります。

校舎の道路にあたる廊下をきちんと歩けない子は、落ち着きや注意力に欠けるため、外でも交通事故に遭いやすい子となります。「廊下の右側を静かに歩く」、これは、命を守ることにつながる大切なことに思われます。

そう考えると、「玄関で靴を揃える」といった行為も、落ち着きのある生活に、延いては、命を守ることにつながるものとなります。

命を守る指導も「小を積んで・・・」が大切のようですね。

~~~~~

冬休み中も「事故0(ゼロ)」を心から願っています。そのためにも、学校でできている挨拶、靴揃えなどが、自宅や訪問先でも実践できるように、励ましの言葉かけをお願い致します。



お世話になりました。小野陽一先生 ご冥福をお祈りいたします

小野陽一先生が不慮の事故で亡くなられてから、早いものでひと月が過ぎました。今でも、毎朝体育館北側のT字路交差点で、登校指導をされていた姿が思い起こされます。

小野先生は、学習指導では算数のTT指導及び高学年の理科を、また、校務の面では安全教育や視聴覚教育を主に担当されていました。

「欠席して受けられなかった理科の授業を、後になって休み時間に個人指導していただきました。とてもありがたかったです。」と、小野先生との思い出を話してくれた卒業生もいました。



わんぱく集会での小野先生

今年度、本校と東小が理科研究発表の担当校になっています。研究を希望した4人の6年生への指導も、小野先生が担当してくれていました。発表会に向けて、研究が完成に近づいた時の事故でした。

12月2日、町理科研究発表会が本校を会場に行われました。



町理科発表会の様子

睦小の発表の冒頭に4人は、「指導してくださった天国の小野先生にも聞いて欲しいと思います」と言って、発表を始めました。担任がそれを指導したのではなく、4人の思いが言葉となったものでした。

小野先生の子どもたちへの深い愛情と、子どもたちの心の成長を感じることができた瞬間でした。

読み聞かせサロン 参加者追加募集について

PTAより

まだまだ人数に余裕がありますので、今からでも参加を受け付けます。ぜひ、お茶を飲みにもいらしてください。

それでは、皆さま、よいお年を・・・